

『戦争する国』ではなく、憲法9条をいかし『平和を広げる国』を

私は 子どもたちに手渡したい」

教職員の意思表示に全国から**5万746人**の賛同の声

—全国教職員投票（8月末日まとめ）の概要—

全日本教職員組合（全教）・教組共闘連絡会・全国高校組織懇談会

2015.9.7

全日本教職員組合（全教）、教組共闘連絡会、全国高校組織懇談会は、「教え子を戦場に送るな」をスローガンに掲げ続けてきた教職員組合として、現在国会で審議されている「戦争法案」廃案を求めるとりくみを職場、地域ですすめています。その一環として、全国の教職員に「『戦争する国』ではなく、憲法9条をいかし『平和を広げる国』を子どもたちに手渡したい」との意思表示—全国教職員投票をよびかけてきました。8月末日までの全国の意思表示の状況がまとまりましたので、マスコミ各社の皆様にその結果を発表致します。教職員の声を広く社会にアピールしていきたいと考えていますので、お取扱いよろしく願いいたします。

1. 教職員の意思表示—「全国教職員投票」の概要

(1) 「全国教職員投票」の目的

① 「戦争法案」について、職場から積極的な議論をすすめる。

② 憲法違反の「戦争法案」が国会で審議されるという重大な情勢のもと、「戦争する国」づくりを許さない教職員の意思を社会に広くアピールする。

(2) 実施時期：①2015年6月下旬～7月上旬を基本ゾーンとしながら、最終締め切りを7月末日とし、それぞれの組織で設定。（そのまとめについては、8月7日に発表済み）

②衆議院での強行採決後、さらにとりくめる職場で広げることを確認し、その分の最終締め切りを8月末日として集約した。

(3) 実施対象：全教、教組共闘連絡会、全国高校組織懇談会に結集する教職員組合の各職場

(4) 実施方法：「わたしの意思表示」カードを職場の教職員に配布し、『戦争する国』ではなく、憲法9条をいかし『平和を広げる国』を私は子どもたちに手渡したい」に賛同いただける方には、○をつけて意思表示してもらう。可能な方には、一言欄への記入もお願いした。意思表示カードは、各職場の投票袋に入れてもらい回収した。

2. 「8月末日まとめ」の概要（2015年8月末日現在）

(1) 投票数：5万1513枚 賛同数 5万746枚

- ・ 3754職場（37都道府県）から寄せられる
- ・ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、障害児学校の職場
- ・ ホームページを見た大学の職場からも意思表示が寄せられた

(2) 一言欄に寄せられた声（抜粋） *詳しくは全教ホームページをご覧ください

- ・ 法案は戦争に1歩近づいている感じがします。なぜ70年平和を守ってきたことを誇りにしないのでしょうか。この国が世界に胸を張って「平和な国」と言えることは何より大切なことです。
- ・ 忘れられた歴史は繰り返すと言います。戦後70年、決して歴史に学ぶ心を忘れず、一人一人が考え、意思表明をしていくことが大切だと思います。私は、無条件に戦争に反対です。

- ・現在、世界を覆っている問題は「戦争」という手段では解決できない。持続発展可能な世界をもたらすものは、兵器ではなく英知である。
- ・武力には武力というような政府の姿勢。国民の意思を大切にしない政府の姿勢。教育の現場で、非暴力、思いやりを大切に育てているのに、国がその反対のことをしては、子どもたちに教えてきたことは、何だったのかと思う。
- ・平和憲法は理想だという人もいますが、戦争という現実を一步でも受け入れたら、先の大戦の反省が生かされません。この平和憲法は皆の願いであり祈りです。

(3) 「全国教職員投票」のとりくみを通して明らかになったこと

- ・「戦争法案」は許せない、憲法9条を守り、いかそうとの圧倒的な声が寄せられた。
- ・様々な立場や考え方の違いはあっても、「戦争する国」を子どもたちに手渡すわけにはいかないと教職員の意思が示された。
- ・職場での対話によって、全教、教組共闘連絡会、全国高校組織懇談会に結集する組織の組合員以外から多数の意思表示カードが寄せられた。組織の違いを超えて投票に協力をしてくれた職場、全員が投票してくれた職場、組合員の3倍を超える投票があった地域などの報告が寄せられた。
- ・意思表示の〇をつけるだけでなく、一言欄に、自分の思いをびっしりと書いてくれる人が多数みられた。「平和を広げる国」を子どもたちに手渡したいとの強い意思を伝えるものだった。
- ・「戦争法案」の議論が国会で進む中、その審議内容とかみ合わせた意見が多数寄せられるようになった。教職員の中に、「戦争法案」が憲法違反であることへの理解がどんどん進んできたことがわかるものだった。

3. 教職員の意思表示－「全国教職員投票」をさらに広げ、生かす今後のとりくみ

- (1) 参議院での「戦争法案」の審議が続いていることから、今後も意思表示を引き続き呼びかける。
 - ・全教ホームページ (<http://www.zenkyo.biz/>) から投票用紙をダウンロードすることができるので、郵送、FAX、メールなどで寄せてほしい。
 - ・意思表示カード・投票用紙の送り先は、下記参照。
- (2) 教職員の皆さんから寄せられた一言メッセージを冊子にまとめ、「戦争法案」の廃案を求める国会議員要請行動で、全参議院議員に届ける。9月10日からの国会座り込み行動と合わせて実施する。
- (3) 教職員投票の内容や一言メッセージについては、全教ホームページにアップして、広く社会に訴える。また、冊子にまとめ全国教職員投票にご協力いただいた職場に還元していきたい。

「全国教職員投票」に関わるお問い合わせ先

全日本教職員組合（全教）

〒102-0084

東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館 3階

TEL 03-5211-0123

FAX 03-5211-0124

E-mail zenkyo@educas.jp

担当 小畑・土方